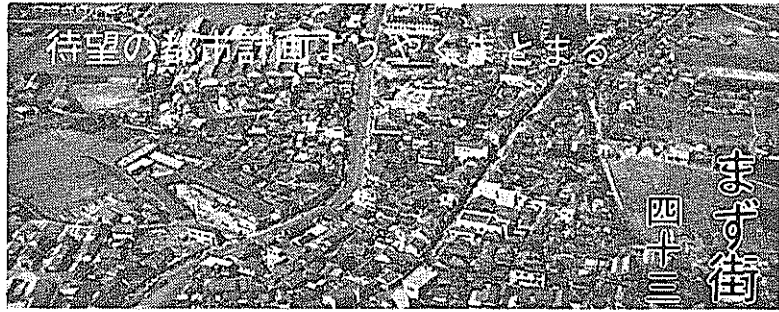


街路計画でできる

まず街路計画から 四十三年度から実施



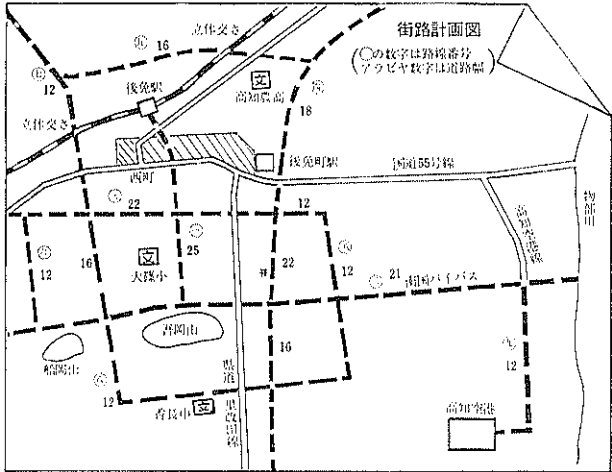
◇基本構想◇

香長平野の中心にある本市は隣接の高知市とは交通の便もよく、むかしから栄えてきた農業や地場産業の育成はもとより、ゆくゆくは高知市のベッタタウンとを兼ね合せた田園都市への発展をめざすべきであって、市内にある大学や高専、高校などの教育機関を利し文教的格調のある計画性に満ちた都市造りを基調とした、住宅環境都市としての方向づけがマスタープランで示されています。

☆ 市がかねて建設省へ依頼していた都市計画のマスタープランは昨年三月にでき、その基本構想にもとづいて、引き続き実施計画の構想がすめられています。このほどこその一部にあたる街路計画案ができ、現在、認可の公示をまっぴかりとされています。

☆ これで夢の都計も実現への第一歩を踏み出したといえます。

☆☆☆☆☆☆☆☆



◇街路計画成る◇

本市における人口の減少率は昭和二十五年をピークとして、三十五年から四十年の間に、わずか百七人の減少となっています。

ところでその反面、人口の集中地域(後免周辺)は逆に増加し、都市化の傾向にあります。二十年後の昭和六十年までには都市部の人口を四万人に、農村地域を二万人、計六万人の人口にするよう街路計画や用途地域の設定、土地区画整理事業などを行なおうとするものです。

街路計画で作られる路線

路線名	幅員(メートル)	長さ(メートル)
① 駅前線(東崎~大畑)	25	1,027
② 明見、物部線(バイパス)	21	5,250
③ 中央線(小籠~大畑)	一部 22 12	3,354
④ 西山、里改田線	一部 18 16.22	5,872
⑤ 上野田、野中線	16	1,683
⑥ 篠原線(小籠~明見)	12	1,003
⑦ 篠原、八幡線	一部 12 16	3,728
⑧ 能間、住吉野線	12	4,278
⑨ 空港線(物部~空港)	12	1,680

ところでこんどできあがったのは街路計画で、昨年十二月に建設省と最終の打ち合せ会を開き、街路幅、位置を決定し、同じ十二月に市の都市計画審議会及び県の都市計画審議会の承認を得て、直ちに建設大臣へ認可申請の手続きをしています。本年二月に認可があり公示される見通しです。

(南園バイパスを含め)の主要路線の新設と空港線の拡幅をしようとするものであって、延長二万八

千キロに及びます。これらの街路幅は二十五分の駅前線(南園バイパスは二十一分)を最高に、せばいものでも十二分の街路となり、鉄道の交差点は立休交差となりま

す。

この街路計画は四十三年度から実施される見込みです。

なお用途地域の設定についての構想は本年三月にできあがることになっています。

(カットの写真は、開発がまたれる後免町周辺)